

バス停からの 小さな旅



文化の森スタッフが、あい愛バスを使った小さな旅を紹介します。

32 「美濃川合駅(まちなかぐるっと線・市街地循環)」から美濃太田車両区を訪ねて



今回乗車したバス

行き…まちなかぐるっと線
左回り3便
帰り…まちなかぐるっと線
右回り4便

10時49分 美濃太田駅南口
11時07分 美濃川合駅
下車後、県道371号
を渡り、車両区へ。
その後、車両区の北側
を歩いて、付近を散策。
12時46分 美濃川合駅
13時04分 美濃太田駅南口



▲美濃太田車両区

今から100年前の大正10(1921)年11月、高山本線の岐阜から美濃太田までが開通し、それに伴って美濃太田駅が開業しました。美濃太田駅は開業以後、高山本線だけでなく越美南線(現在の長良川鉄道)や太多線が乗り入れる中濃地域の主要駅となり、昭和7(1932)年4月1日には、3つの線を走る機関車の整備や修繕を行うために、駅の西北に美濃太田機関庫が設置されました。

そして昭和31(1956)年には、高山本線に気動車(ディーゼル車)が導入され、その後増加する気動車を管理するため、昭和41年に、「美濃太田機関区(通称ディーゼル車。現在は美濃太田車両区と呼ばれる)」が川合町にでき、気動車配置数69両、要員74人で業務を開始しました。高山線以外のディーゼル車の点検整備も行っていたので、構内では、別の路線の車両を見ることもありました。

レールが何本も敷かれたこの車両区に響き渡るディーゼルエンジンの音や、辺りに煙のにおいが漂うこの場所で、鉄道の良さを感じてみてはいかがでしょうか。

文化の森 ☎ 28・1110



▲建設中のディーゼル基地(昭和40年)